

あつぎ郷土博物館年報 6

ANNUAL REPORT OF ATSUGI CITY MUSEUM



令和6年(2024)5月

● 目 次 ●

1 沿 革	3
2 施設概要	4
3 平面図	5
4 基本展示	6
5 企画展示	
(1) 特別展示	7
(2) 企画展示	8
(3) その他展示等	10
(4) 展示会関連講座	12
6 普及啓発活動	
(1) 定期講座	14
(2) 施設見学	15
(3) 出前展示・講座	17
(4) レファレンス業務	18
(5) 学芸員実習・職場体験学習等	19
7 イベント	
(1) あつぎ郷土博物館開館5周年記念事業	20
8 刊行物	
(1) 展示会図録等	21
(2) 博物館NEWS等	22
9 古民家岸邸	
(1) 展示	27
(2) 解説	27
10 資料の収集・保管・活用	
(1) 資料の収集状況	28
(2) 資料の保管状況	29
(3) 資料の館外貸出等	30
11 組織及び職員	
(1) 組 織	32
(2) 博物館協議会	32
12 施 設	
(1) あつぎ郷土博物館	33
(2) 古民家岸邸	34
13 入館者数	35

1 沿 革

あつぎ郷土博物館の建設から開館までの経緯は、おおむね次のとおり。

(仮称)郷土資料館として、平成29年度より本格的な建設準備に着手し、平成31年1月27日に開館。正式名称を「厚木市立あつぎ郷土博物館」と改めた。

平成20年6月 文化財課（当時）が市民公園（下川入）整備構想担当課に決定
平成27年3月1～30日 基本方針（案）に対するパブリックコメント実施
平成28年4月1日 （仮称）あつぎ郷土資料館検討委員会を設置
平成29年3月 （仮称）あつぎ郷土資料館建設実施設計、展示設計を実施、完了
平成29年10月 建築着工
平成30年9月 駐車場等外構工事着手、埋蔵文化財収蔵庫建築工事着工
平成30年10月31日 （仮称）あつぎ郷土博物館竣工
平成30年11月～ 展示工事着手
平成31年1月18日 展示工事完成
平成31年1月27日 あつぎ郷土博物館開館
あつぎ郷土博物館条例が施行される。
平成31年3月24日 来館者1万人達成
令和2年2月22日 文化財保護課Facebook運用開始
令和2年3月3日から5月26日まで
新型コロナウイルス感染防止対策のため休館
令和2年6月28日 来館者5万人達成
令和2年11月16日から令和3年1月22日まで
新型コロナウイルス感染防止対策に伴う空調改修工事
令和3年1月12日から3月21日まで
新型コロナウイルス感染防止対策のため休館
令和3年4月24日から8月6日まで
まん延防止等重点措置のためイベント中止
令和3年8月7日から9月30日まで
新型コロナウイルス感染防止対策のため休館
令和4年1月21日から3月6日まで
まん延防止等重点措置のためイベント中止
令和4年10月16日 来館者10万人達成
令和6年1月28日 開館5周年記念事業実施

2 施設概要

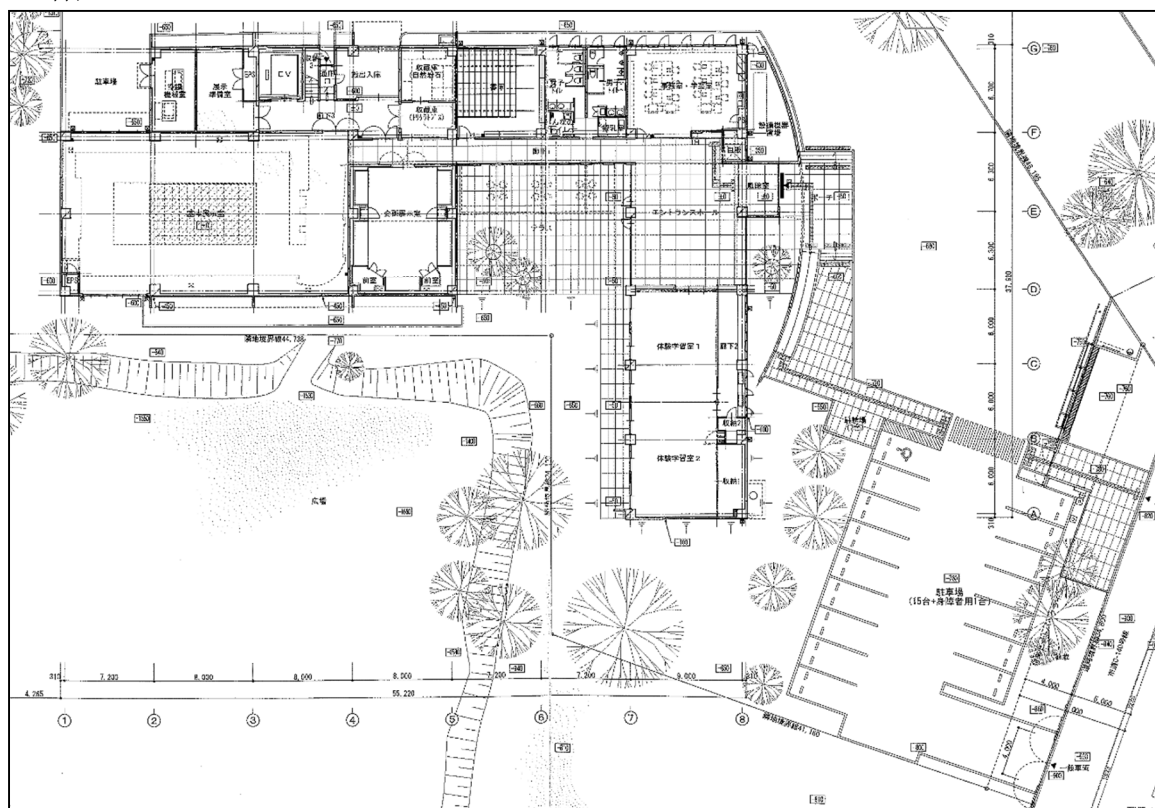
所在地 神奈川県厚木市下川入1366番地 4
敷地面積 10,025m²
建築面積 1,590.10m²
延床面積 1階 1,092.59m²、2階 497.51m²
構造 鉄筋コンクリート造 2階建
工期 着工 平成29年10月
完成 平成30年10月
開館 平成31年 1月27日

工事関係者一覧

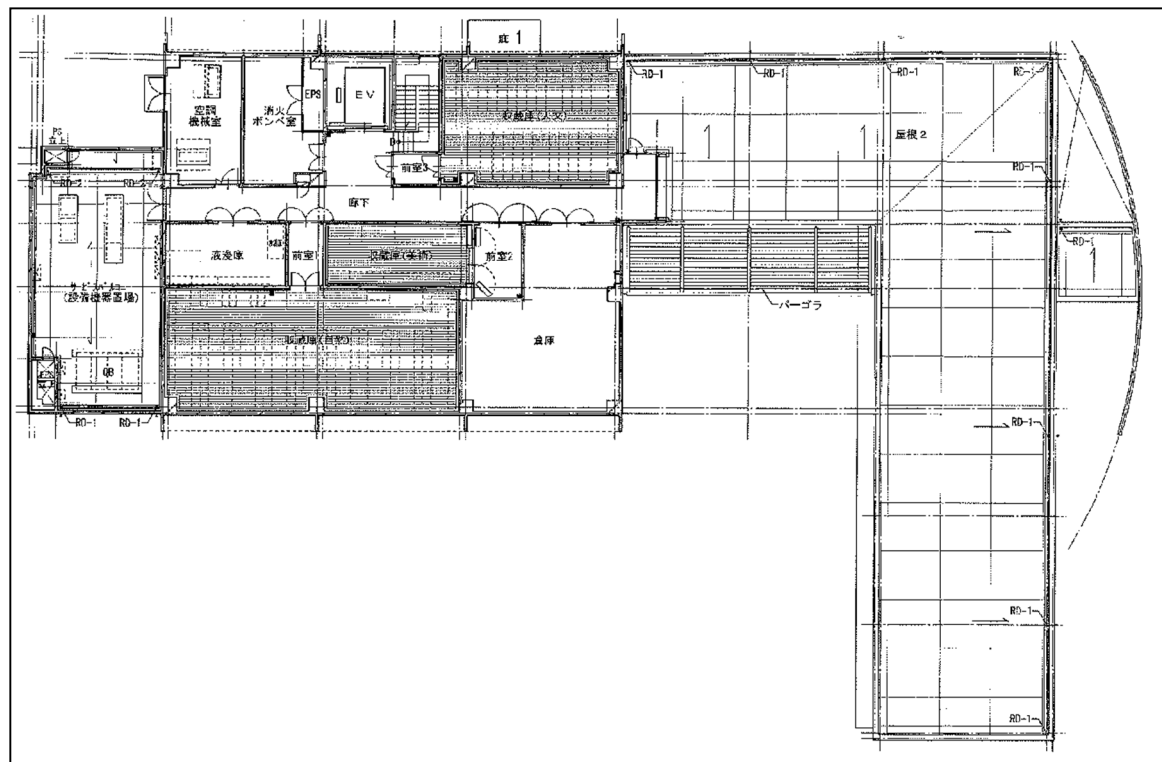
建築設計・管理	株式会社 小林建築事務所
展示設計・管理	株式会社 丹青社
建築工事	山王・安藤特別共同企業体
外構工事	山王・安藤特別共同企業体
展示工事	株式会社 丹青社

3 平面図

・ 1 階



・ 2 階



4 基本展示

「基本展示」は、地学・考古・歴史・民俗・自然の5つの分野で構成し、各分野でさらに項目、細項目をたて、郷土あつぎを理解できるような展示としている。実物資料を中心とする興味深い資料を展示し、具体的なデータはパネル等で説明している。

また、分野を横断して1つのテーマに取り組む「融合展示」は開館以来、毎年、展示内容を更新しているが、令和5年度のテーマを「金・鉄」とした(=写真)。

- ① 展示面積 304.15㎡
- ② 展示資料数 867点(うち融合展示277点)
- ③ 展示テーマ、資料点数内訳

分 野	地 学	考 古	歴 史	民 俗	自 然	合 計
基本展示 テーマ	あつぎの風土を望む	あつぎの大地から	あつぎの原風景を訪ねて	あつぎの人、くらしに出会う	あつぎの環境と生きものを探る	867
基本展示 資料点数	11	157	203	106	113	590
融合展示 テーマ「金・鉄」		・金を埋める ・鉄を以て攻める	・刀剣 ・掛仏	・鉄を鍛え、鋤をつくる ・土地を知り、鋤をつかう	・金びか昆虫のすべて1 ・金びか昆虫のすべて2	
融合展示 資料点数		226	5	16	30	277



5 企画展示

(1) 特別展示

知らなかった蛾の魅力～多様な種の多様な生きざま～

期 間 10月7日～12月3日

開催日数 56日

入場者数 特別展示単独のカウントはしていないが、期間中の
博物館入館者数は5,000人（1日平均 約89人）

厚木市内には約1,400種の蛾が知られ、市内の動植物種の約20%を占める重要な生物群である。灯りなどに集まる夜行性の種が多いが、日中に飛ぶ種も見られる。

また、春や冬などの季節限定で成虫が発生する種、河川敷や高山など、限られた環境に生息する種も存在する。

本展示会では、あつぎにすむ蛾だけではなく、国内友好都市に分布する種も含め、当館所蔵の蛾類標本34,000点の収蔵資料から約300種を展示した。



(2) 企画展示

あつぎ郷土博物館では令和5年度、以下の企画展示を開催した。

	タイトル	期間／日数	入館者数 (1日平均)
1	「地域再発見！2 依知地域－ 弁財天・養蚕・鷺－」	令和5年3月29日～6月25日／84日 (87日※1)	5,645人(68) 6,009人(69)※1
2	デビュー100年「和田 傳」再 発見 ― 今甦る あつぎの明 治・大正・昭和を生きた作家 の真実 ―	令和5年7月22日～9月18日／57日 間	6,256(110) ※2
3	火の用心 ―あつぎの秋葉信仰 ―	令和6年1月13日～3月3日／49 日間	4,813(98)
4	「地域再発見！3 睦合地域－ 田園・水車・トウキョウダル マガエル－」	令和6年3月23日～6月23日／8 日間 (89日間※3)	613(77)

※1の期間及び入館者数は、令和4年度実施分を加えた数字。

※2には関連事業映画観賞会の人数(262人)を含めず。

※3の期間は、令和6年度実施予定を期間を加えた数字。

ア 「地域再発見！2 依知地域 ～弁財天・養蚕・鷺～」

地域展の2回目として依知地域を取り上げた。歴史分野では、市指定文化財の「絹本著色弁財天十五童子像(妙傳寺蔵)」等を展示し、上依知・妙傳寺の歴史や生活改善の様子として主に昭和時代の資料を紹介した。考古分野では、依知地域の遺跡として厚木市内で遺跡が多く残る地域の考古遺物を、縄文時代、弥生時代、古代に分けて展示した。民俗分野では、梅澤家「蚕種帳」、順気社等の資料から養蚕について展示を実施した。自然分野では、鷺を中心に豊かな自然環境を紹介した。



イ デビュー100年「和田 傳」再発見

— 今甦る あつぎの明治・大正・昭和を生きた作家の真実 —

厚木市を代表する作家で、厚木市名誉市民第一号でもある和田傳は、令和5年7月で作家デビュー100年を迎え、その記念展として和田氏の業績と著作を広く紹介する展示会を開催した。

「展示は名前しか知らなかった和田傳を再発見するのにふさわしいものでした」等の意見が多くあり、当初の狙い通り、名前しか知らない人から脱却し、厚木市の偉人、文化人としての和田傳氏の業績や作品を多くの方に知っていただくことができた。

また、保健福祉センターでの「鰯雲」の映画上映会、中央図書館とのコラボレーション企画として「館・館スタンプラリー」を実施するなど博物館以外での展示関連事業を実施することができた。



ウ 火の用心 —あつぎの秋葉信仰—

灯火具(とうかぐ)コレクターとして知られる加藤芳明氏の資料が厚木市に寄贈されることになり、これを記念して、火伏(ひぶせ)の信仰対象である秋葉山の掛軸、守札(もりふだ)を中心とする展示会を開催した。

多くの人が加藤芳明氏のコレクションの充実した内容に圧倒され、秋葉山関係資料が一堂に会した展示は今までになかったと考える。

また、開館時間を延長し、実際の展示資料である鼠短檠(ねずみたんけい)及び行灯に火を灯す講座を実施した。これも他の博物館では実施していない講座を実施することができた。



エ 地域再発見！3 睦合地域 - 田園・水車・トウキョウダルマガエル

地域展の3回目として睦合地域を取り上げた。島村亮作の日本画、難波孫次郎作の彫刻、星野日記や林自治会文書等を展示した。また、この展示から寄贈につながった資料も多くあった。



(3) その他展示等

ア ホール展示

- (ア) 知らなかった蛾の魅力～多様な種の多様な生きざま～
フコシャクガの生体展示及び芋虫フィギアの展示を実施した。
- (イ) デビュー100年「和田 傳」再発見
— 今甦る あつぎの明治・大正・昭和を生きた作家の真実 —
和田傳の等身大パネルや脱穀機、唐箕など昔の農機具の展示を実施した。
- (ウ) 火の用心 —あつぎと秋葉信仰—
纏や半鐘など古式消防の道具などの展示を実施した。

イ ミニ展示（基本展示室）

- (ア) 「100年前の大地震とあつぎ」
期 間 7月29日～10月29日 開催日数88日
期間中の博物館入館者数 8,266人（1日平均 約94人）
- (イ) 「あつぎに残る家康の足跡」
期 間 10月31日～令和6年1月8日 開催日数55日
期間中の博物館入館者数 4,436人（1日平均 約81人）
- (ウ) 「檜谷薬師三尊と十二神将 —新収蔵展示—」
期 間 令和6年1月15日～令和6年6月30日 開催日数73日
期間中の博物館入館者数 6,353人（1日平均 約88人）

ウ 遺跡展

「再発見！！あつぎの古墳」

期 間 3月2日～3月24日 開催日数22日
期間中の博物館入館者数 550人（25人/日）

内容 市内に多数存在する遺跡を周知することを目的として、遺跡の位置や過去の発掘調査の成果をパネルや写真、遺物を用い紹介した。

エ 「^{がくげいいん}學藝員のススメ」 広報連動展示

「広報あつぎ」15日号に「學藝員のススメ」を連載しているが、紹介した資料を基本展示室又は企画展示室に展示した。令和5年度は、香練大黒（4月）から壺形埴輪（3月）まで12回掲載をした。

	掲載号	テーマ（紹介資料）	展示(場所)
1	4月15日	香練大黒	地域展示
2	5月15日	初代綱広脇差	融合展
3	6月15日	足踏み脱穀機	地域展示
4	7月15日	山の奥へゲラ刷り	企画展示
5	8月15日	映画「鰯雲」長谷地区婦人会アンケート	企画展示
6	9月15日	和田傳作文	企画展示
7	10月15日	ギンモンガ	特別展示
8	11月15日	クロテンフユシャク	特別展示
9	12月15日	「火の用心」掛け軸（書）	企画展示
10	1月15日	「火の用心」掛け軸（短歌・標語）	企画展示
11	2月15日	「火の用心」掛け軸（三尺坊）	企画展示
12	3月15日	壺形埴輪	遺跡展示

第43回 博物館の学芸員が、あれこれを語り倒すコーナー。

あつぎ郷土博物館 學藝員のススメ

日蓮作の大黒天像

飯田 好人

あつぎ郷土博物館で開催中の地域展「地域再発見 依知地域・弁財天・養蚕・鷺」で展示している「香練大黒天」の紹介です。

上依知・妙傳寺の寺宝である大黒天像は、江戸時代後期に編さんされた地誌「新編相模国風土記稿」に記されているものです。日蓮宗の開祖・日蓮が自ら香を練って作ったとされ、背中には本人の署名にあたる花押が記されていると伝わっています。妙傳寺には、室町時代の僧・日親が書いた極書も残され、その中にも日蓮作に間違いのないと書かれています。6月25日まで開催している地域展では、大黒天像と極書を展示していますので、ぜひご来館ください。

詳しくは博物館HPに掲載

●あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

第54回 博物館の学芸員が、あれこれを語り倒すコーナー。

あつぎ郷土博物館 學藝員のススメ

はにわ 埴輪か土器か

佐藤 健二

現在、あつぎ郷土博物館では「あつぎの遺跡展・再発見!! あつぎの古墳」が開催されています。写真の史料は市内でも数少ない前方後円墳のホウダイヤマ1号墳から出土したもので、高さ58㎝と比較的大きなつぼの形をしています。展示では「壺形埴輪」としていますが、正直なところ、埴輪なのか土器なのかハッキリとは分かっていません。

表面や内面にはハケ目という筋状の調整痕が残されているなど、埴輪製作の技術を用いて作られていて、外見上は埴輪と相違ないように思われます。しかし、埴輪には本来ないはずの「底」があり、土器なのではないかとも考えられます。この底部には最初から大きな穴が開けられていて、物を入れる容器としては想定されていないようです。

いろいろな意見や見方はあると思いますが、古墳の上に並べて置くために作られたと考えられることから、あえて「壺形埴輪」としています。ぜひ、博物館で実物をご覧になってください。

●あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

(4) 展示会関連講座

ア 展示関連講座

特別展・企画展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、展示テーマに関連した講演会・体験学習を企画した。

回	開催日	テーマ	場所	人数
1	7月23日	描くって楽しい！ 夏休み、お絵描き教室 講師：小島 富司（元小学校長、『農民文学』誌表紙絵作家）	体験学習室	24
2	7月29日	和田傳文業百周年記念展覧会に寄せて 講師：棕棒 哲也（立教大学 兼任講師）	体験学習室	38
3	8月6日	書くって楽しい！ 夏休み、文章教室 講師：白坂 洋一（筑波大学附属小学校教諭）	体験学習室	32
4	8月27日	和田傳と民俗 講師：小島 瓊禮（琉球大学名誉教授）	体験学習室	51
5	9月2日	映画「鰯雲」上映会	保健福祉センター6階ホール	262
6	10月21日	アカリデ、サソウ ～ライトトラップで秋の蛾を観察しよう～ 講師：山本 光人（日本蛾類学会）・藤田 裕（愛川町郷土資料館学芸員）・槐 真史（あつぎ郷土博物館学芸員）	体験学習室	47
7	12月3日	サムサニ、マケズ ～フユシャクの世界を語り尽くす～ 講師：中島 秀雄（日本蛾類学会）	体験学習室	64
8	1月14日	江戸時代における秋葉信仰の広がり ―相模・武蔵・江戸の場合― 講師：武井 慎悟（鶴見大学仏教文化研究所）	体験学習室	24
9	1月21日	江戸時代の秋葉・金毘羅信仰 ―「釈迦三尊十六善神図」に着目して― 講師：武井 慎悟（鶴見大学仏教文化研究所）	体験学習室	20
10	2月3日	夕闇ミュージアム 灯りをともす ―鼠短檠、行灯を体験する― 講師：加藤 芳明（厚木市史編さん委員）	体験学習室	28
合計（10回）				590

イ 展示解説

特別展・企画展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、各展示担当の学芸員による展示解説を実施した。

	実施日	事業名	人数	小計(人)
特別展	10月 7 日	展示解説 ちょっといい蛾の小話会 担当: 槐 真史(あつぎ郷土博物館学芸員)	12	52
	10月29日		17	
	11月12日		8	
	11月29日		15	
企画展	7 月22日	展示解説 デビュー100年「和田 傳」再発見 — 今甦る あつぎの明治・大正・昭和を生きた作家の真実 — 担当: 大塚真由美(あつぎ郷土博物館学芸員) ※ 9 月10日は吉田隆一氏も解説 (元厚木市文化財協会会員)	15	87
	8 月12日		2	
	8 月19日		41	
	9 月10日		22	
	9 月18日		7	
	1 月28日	火の用心 — あつぎと秋葉信仰 — 担当: 大野 一郎(あつぎ郷土博物館学芸員)	22	27
	3 月 3 日		5	
地域展	4 月 2 日	展示解説 依知地域展 担当: あつぎ郷土博物館学芸員	—	24
	4 月 9 日		10	
	4 月16日		6	
	4 月23日		8	
	5 月 7 日		—	
	5 月14日		—	
	5 月21日		—	
	5 月28日		—	
	6 月 4 日		—	
	6 月11日		—	
	6 月18日		—	
	6 月25日		—	
合計(14回)			190	

6 普及啓発活動

あつぎ郷土博物館では、調査・研究の成果を活かした普及講座を行なっている。令和5年度は、土日を中心にワークショップを実施した。また、教育普及活動として小学校や公民館への出前講座等を実施した。

(1) 定期講座

ア 古文書講座

実施日	講座名	場所	人数
2月8日	はじめての古文書 講師:飯田 好人（あつぎ郷土博物館学芸員）	体験 学習室	9
2月15日			8
2月22日			9
3月14日			9
3月21日			9
3月28日			9
小計（6回）			53

イ ワークショップ

開催日	内容	場所	人数
5月4日	ハエ取り器を作ろう	体験 学習室	15
6月24日	和綴じ本づくり		4
7月8日	逸品紹介（ベアト写真帳）		8
7月30日	うちわ作り（夏休み文化財講座）		64
8月11日	ハエ取り器を作ろう		10
8月13日	まが玉講座（夏休み文化財講座）		33
8月16日	まが玉講座（夏休み文化財講座）		17
8月20日	まが玉講座（夏休み文化財講座）		24
9月16日	和綴じ本づくり		15
9月24日	逸品紹介（和漢三才図会）		2
11月11日	逸品紹介（民間信仰資料）		5
12月2日	浮世絵カレンダーづくり		18
12月9日	松ぼっくりでクリスマスツリーづくり		32
12月17日	浮世絵カレンダーづくり		26

開催日	内容	場所	人数
1 月 6 日	お面づくり（冬の文化財講座）	体験 学習室	55
1 月 7 日	お面づくり（冬の文化財講座）		63
2月23日	浮世絵ぬり絵体験		16
合 計（17回）			407

ウ 共催講座

郷土資料館の頃から、資料整理、調査、普及活動で協働してきた団体との活動を、あつぎ郷土博物館への移転後も継続、実施している。

団体（活動日）	回数	人数
古文書解読会（第2、3木曜日。第4木曜日は学習会）	31	536
合計（31回）		536

(2) 施設見学

あつぎ郷土博物館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所等を中心に受け入れを行っている他、出前展示、講座を実施している。

ア 小学校

市内の小学校3年生に対して博物館の見学マナーや基本展示の解説及び教科に合わせて「昔の暮らし」の解説を中心とした施設見学を行った。

来館日	学校名	人数
6月6日	小鮎小学校3年生	65
6月19日	依知小学校3年生	62
10月13日	飯山小学校3年生	32
1月12日	妻田小学校3年生	88
1月24日	北小学校3年生	73
1月30日	鳶尾小学校3年生	52
2月9日	戸室小学校3年生	115
合計（7校）		487

イ 幼稚園・保育園

来館日	園名	人数
5月26日	田園幼稚園・年少	113
9月22日	保育園VIVI	25
12月5日	田園保育ルームぽかぽか	9
1月26日	田園幼稚園・年長	140
2月8日	相川保育所	48
3月6日	南毛利保育所	66
合計（6回5園）		401

ウ 大学

来館日	大学名	人数
6月3日	松蔭大学	13
12月8日	神奈川工科大学	5
合計（2校）		18

エ その他

来館日	団体名	人数
4月3日	三田グループホーム	21
4月4日	甘露苑	12
7月27日	川崎市教育委員会	45
8月6日	軍浦市（企画政策課）	12
8月23日	相州病院	15
8月29日	厚木南公民館	12
8月31日	マジカルシェーズ	16
9月14日	森の里公民館	33
9月21日	荻野の歴史を学ぶ会	17
10月3日	教頭・校長会	20
10月25日	開成町教育委員会	20
12月5日	あおぞら会	12
2月23日	厚木市観光協会	18
3月4日	愛甲公民館	15
合計（14団体）		268

(3) 出前展示・講座

あつぎ郷土博物館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所等で出前展示、講座を実施した。

ア 出前講座・展示（小学校）

開催日	学校(対象、内容)	人数
6月1日	戸田小学校 昆虫について1	100
9月28日	戸田小学校 昆虫について2	48
9月29日	清水小学校3年生 むかしの道具	139
1月15日	南毛利小学校3年生 むかしの道具	161
1月26日	第二小学校3年生 むかしの道具	139
1月31日	愛甲小学校3年生 むかしの道具	71
2月1日	戸田小学校3年生 むかしの道具	40
2月6日	毛利台小学校3年生 むかしの道具	84
2月7日	三田小学校3年生 むかしの道具	127
2月13日	荻野小学校3年生 むかしの道具	38
2月26日	相川小学校3年生 むかしの道具	36
	合計（11回、9校）	983

イ 講師派遣（公民館等）

開催日	内容（団体）	人数
5月8日	第14回「民俗資料の基礎知識」 （伊勢原市文化財保存活用協議会）	20
9月10日	渡辺崋山筆「厚木六勝」について （相模原市立相武台公民館）	50
9月14日	七沢城と上杉家 （森の里公民館）	30
10月15日	養蚕書と出版文化 （茅ヶ崎市立南湖公民館）	50
10月21日	歴史探訪講座 （厚木北地区文化振興会）	23
10月29日	玉川地区の歴史を学ぼう （玉川公民館）	15
11月10日	相川地区史跡めぐり教室 （相川公民館）	10
11月14日	生涯学習出前講座 （厚木ロータリークラブ）	32
11月24日	和田傳文学からみたあつぎ （神奈川工科大学）	4
11月26日	玉川地区の歴史を学ぼう （玉川公民館）	15

開催日	内容（団体）	人数
12月1日	農具からみたあつぎ （神奈川工科大学）	4
12月8日	わが町厚木の歴史 （厚木市視覚障害者協会）	15
1月20日	相川地区のたからもの （戸田小学校区地域子ども教室推進事業運営委員会）	中止
2月27日	厚木南地区歴史遺産探訪 （厚木南公民館）	3
3月9日	定点ガイド（飯山観音） （あつぎ観光ボランティア協会）	20
	合計（15回）	291

（4）レファレンス業務

地域資料に関する市民の疑問、質問の相談に対し、あつぎ郷土博物館が調査・収集・研究している情報に基づいて回答している。令和5年度の業務件数は以下のとおり。

ア 一般回答 総数129件（うち人文系69、自然系58、その他2）

分野	質問者	相談内容	内容、対応
人文	一般	展示に関する問い合わせ	和田傳や秋葉山信仰について問い合わせがあった。
	一般	資料の寄贈について	民具等の寄贈受け入れについて問い合わせ。資料を確認し寄贈いただいた。
	一般	市内の地名について	地名の由来について説明。「厚木の地名」を紹介。
	一般	修験者について	「厚木の修験者」を紹介した。
自然	一般	キノボリトカゲについて	宮崎大学より発生状況などの問い合わせ。サンプルの提供依頼。
	一般	トンボの調べ方について	小学生が取り組むマーキング調査の実際についてレファレンス。
	一般	剥製について	ウミガメの剥製の保存に関するレファレンス。
	行政	生物多様性について	モニタリング調査の活用についてレファレンス。
その他	一般	博物館でのボランティア活動について	学芸員資格を持っている。経験がないが手伝い等ができるか。

イ メディア対応 総数14件（掲載12件、放送2件）

種類	掲載、放映日	取材内容
掲載	4月3日	タウンニュース 地域展「地域再発見!2 依知地域-弁財天・養蚕・鷺-」について
掲載	6月28日	タウンニュース 企画展「デビュー100年「和田傳」再発見」について
掲載	7月14日	タウンニュース 企画展「デビュー100年「和田傳」再発見」について
掲載	7月21日	神奈川新聞 企画展「デビュー100年「和田傳」再発見」について
掲載	8月25日	タウンニュース ミニ展示「100年前の大地震とあつぎ」について
掲載	1月15日	タウンニュース 開館5周年カプセルトイについて
掲載	1月23日	朝日新聞 開館5周年カプセルトイについて
掲載	1月24日	神奈川新聞 「火の用心-あつぎの秋葉信仰-」について
放送	1月29日	テレビ神奈川 開館5周年カプセルトイについて
掲載	2月5日	朝日新聞 開館5周年カプセルトイについて
放送	2月5日 2月13日	FMヨコハマ 開館5周年カプセルトイについて
掲載	2月5日	共同通信 開館5周年カプセルトイについて
掲載	2月28日	タウンニュース 遺跡展「再発見!!あつぎの古墳」について
掲載	3月6日	神奈川新聞 遺跡展「再発見!!あつぎの古墳」について

(5) 学芸員実習、職場体験学習等

ア 博物館実習

東海大学、神奈川大学、鶴見大学、東京農業大学の学生4人を受け入れた。

令和5年7月24日から27日まで、8月21日から23日まで及び9月9日
合計8日間

イ 職場体験学習

依知中学校2年生2人の生徒を受け入れた。(9月6日～7日)

- 林中学校2年生2人の生徒を受け入れた。(11月30日)
- ウ 教員の5年経験者研修(社会体験研修)
- 県立厚木東高校の教員を1人受け入れた。(8月26日～27日)

7 イベント

(1) あつぎ郷土博物館開館5周年記念事業

平成31年1月27日の開館から5年が経過し、1月28日から2月25日まで開館5周年記念事業として市制10周年記念映像の上映会や毛利氏講座、お菓子作りワークショップなどを実施し、29日間で3,336人の来館者があった。なお、初日の1月28日には、相模里神楽の公演や渡辺崋山講座のほか、イベントを各種実施し、1日の来館者数が871人となった。

ア 1月28日のイベント

カプセルトイ解説、土器パズルタイムトライアル、土器発掘体験、ぬり絵・スタンプ、ミニ凧作り、バルーンアート、火の用心ギャラリートーク、クイズラリー

イ 記念事業

開催日	内容	場所	参加者数
1月28日	開館5周年記念セレモニー(相模里神楽垣澤社中)	体験学習室	113
1月28日	渡辺崋山講座 講師：河野 元昭氏(公益財団法人 出光美術館 理事、東京大学名誉教授)	体験学習室	38
2月3日	夕闇ミュージアム 灯りをともす 講師：加藤 芳明氏(厚木市史編さん委員会委員)	体験学習室	28
2月10日	これから博物館についてーユニバーサル・ミュージアムとハンズオン展示ー 講師：広瀬 浩二郎氏(国立民族学博物館教授)	体験学習室	21
2月12日	考古学お菓子作りワークショップ 講師：ヤミラ氏(お菓子作り考古学者)	体験学習室	40
2月17日	博物館資料上映会	体験学習室	30
2月25日	毛利氏講座 講師：岩田 慎平氏(愛川町郷土資料館学芸員)	体験学習室	65
合計(7回)			335

8 刊行物

あつぎ郷土博物館では、展示の内容をより深く理解する手立てとして基本展示図録、特別展示図録などを刊行している。

従来、事業周知を目的とし、月1度の発行としてきた『郷土資料館NEWS』は、『あつぎ郷土博物館NEWS』と改称し、刊行を続けている。

また、事業報告を行ってきた『郷土資料館年報』についても、『あつぎ郷土博物館年報』として同様にネット上で公開している。

(1) 展示会図録等

[あつぎ郷土博物館 基本展示図録]				
『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』	2019.01	A4版	1,000部	
『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』	2019.06	A4版	1,000部(初版2刷)	
[あつぎ郷土博物館 特別展示図録]				
『開館記念特別展 みる、しる、たのしむ 浮世絵の世界—歌麿・北斎・広重—』	2019.01	A4版	1,000部	
『あつぎの花咲く植物の世界—神奈川県植物誌2018の成果をひもとく—』	2020.01	A4版	1,000部	
『優しい旅びと・渡辺崋山—「厚木六勝」と「游相日記」—』	2020.09	A4版	1,000部	
『有孔罅付土器と人体装飾文の世界』	2022.07	A4版	1,000部(無償頒布)	
『知らなかった蛾の魅力—多様な種の多様な生き様—』	2023.10	新書サイズ	1000部	
[あつぎ郷土博物館 郷土学習の副読本]				
『あつぎの友好都市 あばしりの自然』	2022.03	A5版	2,000部	
[あつぎ郷土博物館 企画展小冊子]				
『デビュー100年「和田 傳」再発見—今甦るあつぎの明治・大正・昭和を生きた作家の真実—』	2023.07	A4版	1200部	
『山の奥へ・いわし雲』 和田傳著	2023.07	A5版	500部	
[あつぎ郷土博物館 企画展小冊子] (無償頒布)				
『バッテリーはねる、飛ぶだけじゃないバッタの魅力—』	2022.11	A5版	1,000部	
			1,000部(増刷)	
『相模人形芝居大会第50回記念展 人形とともに—相模人形芝居の50年—』	2023.02	A5版	1,000部	
『企画展「火の用心—あつぎの秋葉信仰—」』	2024.01	A5版	1,000部	

(2) 博物館NEWS等

[あつぎ郷土博物館 NEWS号外]

『あつぎ郷土博物館 NEWS号外』(4～3月号) 2019.4～6 A4版 1,150部

[あつぎ郷土博物館 NEWS]

『あつぎ郷土博物館 NEWS』(7～3月号) 2020.7～2021.3 A4版 1,350部

『あつぎ郷土博物館 NEWS』(4～3月号) 2021.4～2022.3 A4版 1,350部

『あつぎ郷土博物館 NEWS』(4～3月号) 2022.4～2023.3 A4版 880部

『あつぎ郷土博物館 NEWS』(4～3月号) 2023.4～2024.3 A4版 880部

[(仮称)あつぎ郷土博物館 準備NEWS]

『(仮称)あつぎ郷土博物館 準備NEWS』(1～9号)

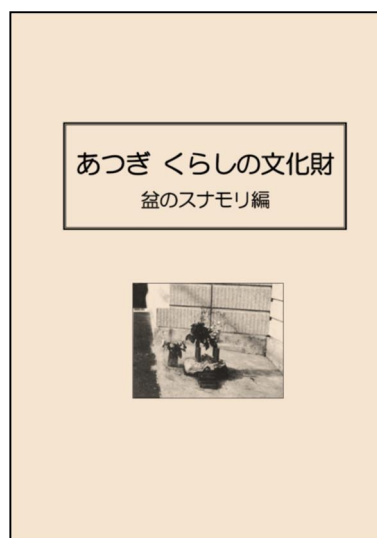
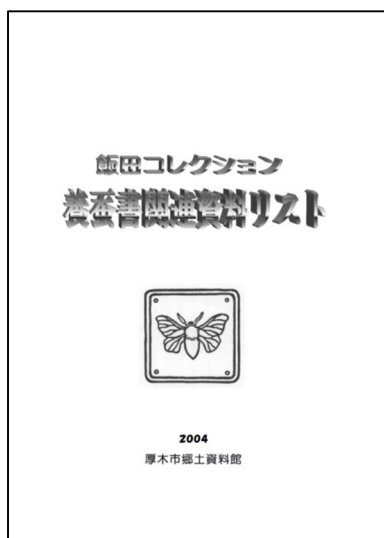
2018.4～12 A4版 1,350部

【参考】厚木市郷土資料館 刊行物

[郷土資料館 常設展示図録]			
『常設展示図録 あつぎ百科』	1998. 11	B 5 版	1, 500部
[郷土資料館 特別展示図録]			
『第1回 おおやまの生きもの』	1998. 11	A 5 版	1, 500部
『第2回 出開帳』	1999. 11	B 5 版	1, 500部
『第3回 化 石』	2000. 7	A 4 変形	1, 500部
『第4回 東海道と矢倉沢往還』	2001. 9	A 4 版	1, 000部
『第5回 あつぎ地域の草木☆花めぐり』	2002. 12	A 5 版	1, 000部
『第6回 農具から農機具へ～流通民具が語るもの～』	2003. 11	A 4 版	1, 000部
『第7回 養蚕書と出版文化～養蚕文化はどう伝わったのか～』	2004. 11	A 4 版	1, 000部
『第8回 相模川の生きものに親しむ』	2005. 11	A 5 版	1, 000部
『第9回 商家と看板』	2007. 2	A 4 版	1, 000部
『第11回 本厚木駅と厚木駅～小田急、相鉄、相模線とあつぎ～』	2008. 11	A 4 版	1, 000部
『第12回 あつぎのむし』	2009. 11	A 5 版	1, 000部
『第13回 ー引札、チラシ、マッチラベル、錦絵、看板ー 広告メディアが語る「商い」と地域の変遷』	2010. 11	A 4 版	1, 000部
『第14回 あつぎ あきのむし』	2011. 10	A 5 版	1, 000部
『第15回 あつぎ 縁起書の世界ー神さま仏さまのプロフィールー』	2012. 11	A 4 版	1, 000部
『第16回 あつぎの野鳥』	2013. 11	A 5 版	500部
『第17回 化粧』	2014. 11	A 4 版	500部
『第18回 あつぎの草木＊花めぐり』	2015. 11	A 5 版	500部
『第19回 あつぎと酒』	2016. 11	A 4 版	500部
※第6回のみ無償、他は有償頒布。第10回は開館10年記念展。			
[郷土資料館開館10年記念特別展図録] (無償頒布)			
『郷土資料館開館10年記念特別展 あつぎ文化財まつり』	2007. 11	A 4 版	2, 000部

[厚木市郷土資料館資料]

『飯田コレクション 養蚕書関連資料リスト』	民俗資料調査報告	2005. 3. 31	A 4 版	150部
『飯田コレクション 養蚕書関連資料リスト』	民俗資料調査報告	2006. 3. 31	A 4 版	150部
『飯田コレクション 地域関連資料リスト1』	民俗資料調査報告	2006. 3. 31	A 4 版	200部
『あつぎ くらしの文化財 盆のスナモリ編』	民俗資料調査報告	2006. 11. 30	A 4 版	50部



▲第7回 養蚕書と出版文化の借用資料の調査報告書（2006 年 3 月刊行）

▲会員の調査を一冊の報告書にまとめ、刊行（2006 年 11 月刊）

[郷土資料館 収蔵資料展示図録]

『第1回 厚木の画家 島村亮』	1998. 12	A 4 版	500部
『第7回 町場のくらしと民具』	2000. 2	A 4 版	500部
『第9回 職人の道具』	2000. 6	A 4 版	500部
『第11回 鎧と刀』	2000. 12	A 4 版	500部
『第12回 あつぎの野鳥』	2001. 2	A 4 版	500部
『第13回 活動する青年たち』	2001. 6	A 4 版	500部
『第16回 あつぎの民俗芸能』	2001. 12	A 4 版	500部
『第18回 村の古文書一馬場文書一』	2002. 5	A 4 版	500部
『第19回 あつぎの修験者』	2002. 8	A 4 版	500部
『第20回 厚木の文学者 和田傳』	2003. 2	A 4 版	500部

[郷土資料館 NEWS]

『郷土資料館 NEWS』	(1 号)	1999. 3	A 4 版	500部
『郷土資料館 NEWS』	(2 号～13号)	1999. 4～2000. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(14号～25号)	2000. 4～2001. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(26号～37号)	2001. 4～2002. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(38号～49号)	2002. 4～2003. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(50号～61号)	2003. 4～2004. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(62号～73号)	2004. 4～2005. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(74号～85号)	2005. 4～2006. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(86号～97号)	2006. 4～2007. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(98号～109号)	2007. 4～2008. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(110号～121号)	2008. 4～2009. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(122号～133号)	2009. 4～2010. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(134号～145号)	2010. 4～2011. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(146号～157号)	2011. 4～2012. 3	A 4 版	各600部
『郷土資料館 NEWS』	(158号～169号)	2012. 4～2013. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(170号～181号)	2013. 4～2014. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(182号～193号)	2014. 4～2015. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(194号～205号)	2015. 4～2016. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(206号～217号)	2016. 4～2017. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(218号～229号)	2017. 4～2018. 3	A 4 版	各660部

なお、郷土資料館開館以前、市立博物館展示準備のための基礎調査報告書については、『厚木市博物館資料』という体裁で、以下のように刊行し、資料目録（購入、収集、寄贈）も同じシリーズにて発刊してきた。資料館開館後の資料の調査、整理等に関する報告等については、『郷土資料館資料』というタイトルで資料館閉館まで刊行を続けた。

[厚木市博物館資料]

『厚木市荻野の動物Ⅰ』	1995. 3
『厚木市荻野の植物Ⅰ』	1995. 3
『谷戸田のムラ』	1995. 3
『鐘ヶ嶽東方の七沢石』	1995. 3
『最勝寺墓石調査報告書』	1996. 3
『厚木市荻野の植物Ⅱ』	1996. 3
『金光山最勝寺墓石調査報告書』	1995. 3
『収蔵資料目録 1 寄贈・購入昆虫標本目録 (1)』	1997. 3
『収蔵資料目録 2 寄贈・寄託維管束植物目録 (1)』	1997. 3
『厚木市相模川の動植物』	1998. 3
『長福寺墓石調査報告書』	1997. 3
『収蔵資料目録 3 脇一郎寄贈蝶類コレクション目録 』	2005. 3

[博物館収蔵資料展図録]

『第1回 博物館収蔵資料展 坂東彦三郎と厚木』	1994. 2
『第2回 博物館収蔵資料展 世界のチョウ・厚木のチョウ』	1994. 11
『第3回 博物館収蔵資料展 幕末－相州厚木－』	1995. 2
『第4回 博物館収蔵資料展 一夏の風物誌－花火』	1995. 7
『第5回 博物館収蔵資料展 厚木の植物－植物に魅せられた人々－』	1996. 2
『第6回 博物館収蔵資料展 広重の富士三十六景－厚木と富士信仰－』	1996. 7
『第7回 博物館収蔵資料展 厚木の里山をあるく』	1997. 3
『第8回 博物館収蔵資料展 旅－村、往還そして街道－』	1997. 12

9 古民家岸邸

厚木市指定有形文化財である旧岸家住宅を展示場として、市民から寄贈された五月人形や雛人形などの展示を行った。

(1) 展示

	タ イ ト ル	期 間	入 数
1	古民家岸邸の端午の節句	4月19日～5月7日	322
2	あつぎ古民家岸邸の七夕	6月28日～7月17日	95
3	古民家岸邸の雛まつり	2月17日～3月10日	667
合 計 3 回			1084

厚木市指定有形文化財
あつぎ古民家岸邸の雛まつり

入館無料
イベント
書遊びと折り紙
ボランティアさんが指導し、折り紙などを教えてくれます。
2/24・10時～12時

展示期間 令和6年 2月17日(土)～3月10日(日)

会 場 厚木市古民家岸邸(厚木市上荻野792-2)
開館時間 10時から15時まで 休館日 月・火(祝日の場合は翌日)
駐 車 場 5台 (なるべく公共交通機関を御利用ください。)
バ ス 本厚木駅北口1番乗り場 半原行き
久保バス停 下車 徒歩5分
主催:厚木市教育委員会 問合せ: あつぎ郷土博物館 046-225-2515

厚木市指定有形文化財古民家岸邸の七夕

●会期 令和5年 6月28日(水)～7月17日(月)

お願いを短冊に書いてみよう。
短冊とペン4片割に出展があります。

●場 所 厚木市上荻野792-2
●開館時間 午前10時から午後5時まで
●会期中の休館日 7/23(月)、4(火)、10(月)、11(火)
●入館料 無 料
●アクセス 本厚木駅北口1番のりば 半原ゆき 久保バス停下車徒歩5分
●駐車場 5台
●問合せ先 あつぎ郷土博物館 電話 046-225-2515

厚木市指定有形文化財
あつぎ古民家岸邸の端午の節句

入館無料
直接会場までお越しください。入館は無料です。

民話のお話会
所ランティヤさんが童謡や新編などを歌ってくださいます。
5/3 (水・祝)
10時～14時
15分・30分・45分・60分の間

開催期間 4/19(水)～5/7(日)
10時～17時
休館日: 4月24日(月)・25日(火)
5月1日(月)・2日(火)

会場 古民家岸邸 (厚木市上荻野792-2)
駐車場 5台
バス 本厚木駅北口1番乗り場 半原行き 久保バス停下車5分

お問合せあつぎ郷土博物館 046-225-2515

(2) 解説

	開催日	団 体	人 数
岸邸の建築	10月26日	瀬戸屋敷倶楽部	17
岸邸の建築	1月24日	大和市中央林間地区民生委員児童委員協議会	27
合 計 2 回			44

10 資料の収集・保管・活用（令和6年3月31日現在）

(1) 資料の収集状況

あつぎ郷土博物館は、前身である郷土資料館の頃から、郷土 厚木の歴史、民俗、自然に関する資料を購入、寄贈、寄託、採集などの方法で収集を行ってきた。令和6年3月31日現在、資料調査、整理を進め、資料件数を点数に改めるなどの精査を行った結果、新たに寄贈を受入れた資料953点を加え、合計点数は **185,921点** となった。

収集した資料は、各種展示会等において展示公開を進めている。

ア 入手方法別 資料の収集状況（累計）

	購入資料	寄贈資料	寄託資料	採集資料	その他	合計(点)
人 文	4,733	21,165	6,823	0	285	33,006
自 然	1,511	24,964	1,436	124,956	48	152,915
合 計	6,244	46,129	8,259	124,956	333	185,921

イ 寄贈資料の受け入れ状況（19件、520点 寄贈者敬称略）

受入月日	資 料 名	寄 贈 者	数
4月12日	掛軸、行燈、通い徳利	白井 恵	16
5月19日	古文書、刊本、掛軸他	吉澤 篤男	520
5月30日	「増補日本政記」「国史畧」	小川 美幸	12
6月6日	古文書一括、震災関連一括、写真	深田 洋	76
7月6日	庚申講掛軸、掛軸、土地宝典、『経済的作物増収法』	鈴木 知幸	4
7月17日	穀臼(旧寄託資料)	石射 正英	1
7月20日	『砂子屋書房本』、アルバム	太田 麻生	4
8月1日	人形芝居写真、ネガ一括	井上 真弓	1
8月10日	ヒメフチドリゲンゴロウ ♂・♀生体 コガタノゲンゴロウ 生体	輪島啓介 輪島美恵	3
8月17日	『新編相模国風土記稿』	森下 俊春	1
8月17日	相模人形芝居カシラ、衣装小道具	須田 タカ	3
8月18日	『和田傳全集』	相原 厚	10
10月18日	『あまのころ 父・和田傳のこと』、『時のあしおと』、『随筆集 沙羅の庭』	太田 麻生	4
11月27日	冊子『相州愛甲郡恩名村 五人組仕置帳』	厚木市古文書 解読会	1
11月27日	二八上依知同窓会資料	矢後 文男	1
1月7日	『あつぎひがし座 おんなたちの人形浄瑠璃』	松田 礼子	1

受入月日	資 料 名	寄贈者	数
1 月 13 日	刀、熊野大神守護攸、厚木熊野神社氏子札	清水 泰彦	6
2 月 4 日	謄写印刷機	加藤 榮治	1
2 月 4 日	東海道名所 大磯 歌川広重（薰岱他 10 名句合わせ）、厚木市政だより創刊第一号（附綴帳）	出水 定	2
2 月 22 日	昭和期の生活道具一括	臼井 美正	6
2 月 22 日	島村 亮資料（絵画等）	島村 あつ子 島村 とよ子	272
2 月 22 日	熊坂東以色紙	笹生 公美子	1
2 月 24 日	道祖神、稲荷石祠	渡部 稔	5
3 月 1 日	初代 歌川豊国 宝珠図	田口 宗平	1
3 月 1 日	『わが行く道は遙けて 渡辺崋山の生涯』	馬場 豊	1
合 計			953

(2) 収集資料の保管状況

あつぎ郷土博物館収蔵資料の多くは、博物館内の 4 室の収蔵庫に収蔵、保管されている。

その他にも、昭和40年代から収集を進めてきた民具などの民俗資料は、博物館敷地内の郷土資料収蔵庫（＝写真）、三田公共用地内のコンテナ 3 基に収蔵している。

あつぎ郷土博物館内に設置された収蔵庫は、常時空調機を使用し、文化庁が推奨する湿度55%±5%、室温は摂氏22度±5度の温湿度を保つように設定している。

美術、人文、自然、液浸、それぞれの資料の内容により標本箱や文書箱を使用する等、専用の保存収蔵庫に収納、保存している。全館燻蒸は令和元年度に行ったが、今後は環境調査の結果によって行うものとしている。企画展示室は年 1 回、燻蒸を行っている。



ア 収蔵施設別 資料の保管状況

	あつぎ郷土博物館 収蔵庫	郷土資料収蔵庫	三田コンテナ	合計（点）
人 文	14,217	17,575	1,214	33,006
自 然	152,915	0	0	152,915
合 計	167,132	17,575	1,214	185,921

イ 収蔵施設面積

	あつぎ郷土博物館 収蔵庫	郷土資料収蔵庫	三田コンテナ	合計（㎡）
面積	497	348	108	953

(3) 資料の館外貸出等

ア 館外貸出 8 件

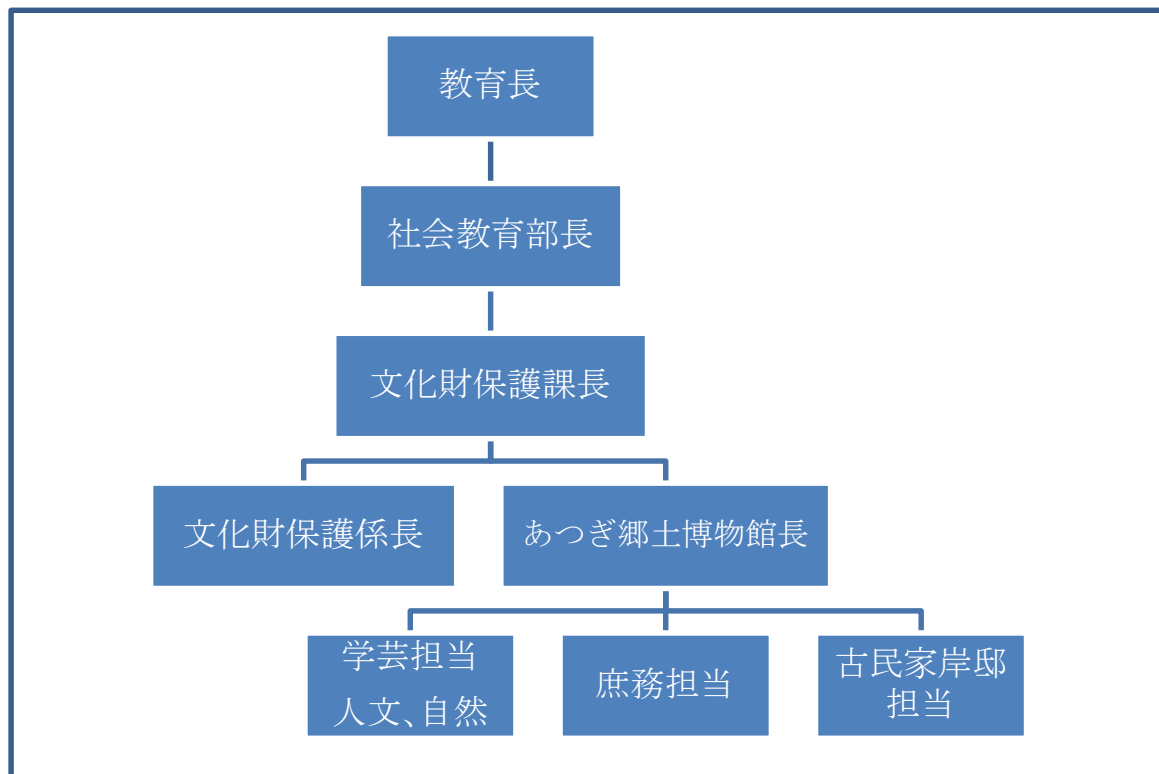
申請日	期 間	資 料 名	貸 出 先	数量
7 月 28 日	8 月 2 日～ 8 月 14 日	戦争関連資料	福祉総務課	7
8 月 2 日	8 月 10 日～ 8 月 13 日	箱膳	すみれ会	8
8 月 21 日	8 月 24 日～ 8 月 31 日	土器片(2)、クルリ棒 (2)、地神掛軸(1)、古 文書(3)	東海大学	8
9 月 28 日	9 月 29 日～ 10 月 1 日	座繰り、ヒキ拾い皿、 回転マブシ、箆、生糸、 写真パネル	すみれ会	10
10 月 11 日	10 月 11 日～ 10 月 20 日	千歯扱(2)、足踏み脱穀機 (1)	七沢希望の丘初等学校	3
10 月 31 日	10 月 31 日～ 3 月 29 日	古典籍(236)	日本文化研究機構国文学 研究資料館 (榊堀内カラー)	236
1 月 13 日	2 月 13 日～ 2 月 21 日	昔の道具	上荻野小学校	1
2 月 1 日	2 月 13 日～ 2 月 29 日	土器片(2)、クルリ棒 (2)、地神掛軸(1)、古 文書(3)	東海大学	8

イ 特別利用 16件

申請日	資料名	利用者	形態
5月17日	林王子遺跡出土 有孔鍔付土器	個人	掲載
5月24日	古民家岸邸	みすゞ設計事務所	掲載
5月31日	天然理心流切紙（大正7年）、宏道流挿花免許（天保4年）	個人	閲覧 撮影
7月3日	天利五勇作品一括	個人	閲覧 撮影
9月5日	D V D「湖底に沈む村」（撮影：代田高則）	小田原市立桜井小学校	その他
9月5日	歌川國経「美人図」「三人立美人図絵馬」（レプリカ）、天利五勇下絵一括	個人	閲覧 撮影
9月28日	歌川國経「美人図」「三人立美人図絵馬」（レプリカ）、天利五勇下絵一括	個人	閲覧
10月1日	相州愛甲郡恩名村五人組御仕置帳	厚木市古文書解説会	複写 掲載
10月22日	「厚木」（F.ベアト撮影）	㈱kimika	放送
10月28日	D V D「厚木市制10周年」「厚木市制15周年」	厚木市立清水学校	その他
11月17日	日蓮聖人 相州星下一箇之霊場	個人	閲覧 撮影
11月20日	箱根（F.ベアト撮影）	JTBC	放送
12月13日	箕、唐竿、石臼 他	個人	閲覧 撮影
1月30日	養徳寺寄贈資料	個人	閲覧
3月10日	セツトウ（石工道具）	神奈川県立歴史博物館	掲載
3月23日	博物館外観等写真	㈱ミュージアムピック	掲載

11 組織及び職員

(1) 組織（令和6年3月31日現在）



(2) 博物館協議会

ア 委員構成（令和6年3月31日現在）（五十音順）

氏 名	所属（分野）	氏 名	所属（分野）
明戸 葉子	厚木市上戸田児童館指導員	広谷 浩子	神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員
小松 秀雄	元ポーラ文化研究所長（歴史）	松野 勝	あつぎ郷土博物館地域連絡会会員 元青年の家跡地研究会
鈴木 通大	神奈川大学日本常民文化財研究所客員研究員	望月 一樹	神奈川県立歴史博物館館長
手塚 真理	秦野市くずはの家自然観察指導員・元市川市立市川自然博物館学芸員	吉崎 健二	公募による選考
馬場 弘臣	東海大学教育開発研究センター教授（歴史）	吉田 文雄	公募による選考

イ 会議の開催

日 時	内 容
6 月 20 日	令和 4 年度あつぎ郷土博物館事業報告、令和 5 年度あつぎ郷土博物館事業計画について
3 月 18 日	令和 5 年度あつぎ郷土博物館事業報告、令和 6 年度あつぎ郷土博物館事業計画及び長期計画について

12 施 設

(1) あつぎ郷土博物館

ア 建設概要

位 置	神奈川県厚木市下川入1366番地 4
敷 地 面 積	10,025㎡
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造 地上 2 階建
建物床面積	1,590.10㎡ ・延床面積 1 階 1,092.59㎡、2 階 497.51㎡
開館年月日	平成 31 年 1 月 27 日

イ 展示等面積

基本展示室(1階)	304.15㎡
企画展示室(1階)	85.51㎡
体験学習室(1階)	130.70㎡ (体験学習室 1、2)
専門書庫(1階)	52.70㎡
収蔵庫(1階)	32.29㎡ (化石岩石展示・収蔵室)
展示準備(1階)	90.38㎡ (荷解き場、展示準備室等)
事務・学芸室(1階)	68.22㎡
収蔵庫(2階)	312.25㎡ (人文、美術、自然、液浸)
施設管理室(1、2階)	245.24㎡ (消火ポンベ室、機械室、エレベーター等)
共用部他(1、2階)	268.66㎡ (エントランスホール、トイレ・授乳室他)

(2) 古民家岸邸

位 置	神奈川県厚木市上荻野792番地 2
敷 地 面 積	1,746.25㎡
建物床面積	520.13㎡（主屋 1階 272.25㎡ 2階 140.24㎡ 土蔵1 1階 33.12㎡ 2階 33.12㎡ 土蔵2 1階 20.70㎡ 2階 20.70㎡）
建設年月日	明治24年（1891年）
建物の特徴	岸邸の主屋は、木造2階建て、寄棟造瓦葺。間取りは、一階が土間をもつ六間取りを基本にいくつかの部屋を追加している。二階は、12.5畳の部屋から横一列に3室ならび、その他10畳弱の洋間が造られている。部屋は全部で15室あり、敷地面積は約520坪。 この建物の特徴として次の3点があげられる。 ① 使用されている木材の質が極めて高く、仕上も入念である。 ② 各部の意匠は通り一遍でなく、十分な手間がかけられ、随所に凝った意匠を展開している。 ③ 近世以来の伝統的な農家の間取りである六間取を基本にしながら、本格的な二階座敷を持ち、しかもこの時期には珍しかったであろう瓦葺とするなど、時代の転換期の先端的な様式を併せ持っている。



13 入館者数

(1) 令和5年度 あつぎ郷土博物館 月別入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者	2,076	1,877	1,898	2,170	3,134	2,475	2,343	2,425	1,479	2,957	2,376	1,880
開館日	29	30	29	28	30	29	28	29	20	27	28	29
平均	72	63	65	78	104	85	84	84	74	110	85	65
累計	2,076	3,953	5,851	8,021	11,155	13,630	15,973	18,398	19,877	22,834	25,210	27,090

(2) あつぎ郷土博物館 年度別入館者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
入館者	11,664	36,586	19,549	19,228	23,115	27,090	137,232
開館日	63	320	226	282	332	336	1,559
平均	185	114	87	68	70	81	88

*平成30年度は、博物館建設準備のため4月1日から1月25日まで郷土資料館（寿町）を休館し、1月27日からあつぎ郷土博物館（下川入）として開館した。

入館者数は1月27日から3月31日までの人数。

*令和元年度は、新型コロナウイルス感染対策のため3月4日から3月31日まで休館。

*令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策のため4月1日から5月26日まで休館。1月12日から3月21日まで休館。

*令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策のため8月7日から9月30日まで休館。

【参考】郷土資料館（あつぎ郷土博物館の前身） 利用者数の推移

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
入館者	4,233	8,685	11,887	12,701	9,424	5,268	8,089	8,076	7,212	12,264	15,001
開館日	144	331	328	329	340	340	340	340	349	353	349
平均	29	26	36	39	28	15	24	24	21	35	43

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	合計
入館者	13,042	12,310	12,895	14,176	13,109	14,289	11,741	8,760	6,338	209,500
開館日	349	351	350	350	350	350	350	359	359	6,711
平均	37	35	37	41	37	41	34	24	18	31

*平成10年度は、11月3日から翌3月31日までの人数。

*平成15年度は、6月15日から9月13日まで耐震工事のため2階展示室を閉鎖。

*平成29年度は、10月1日から、移転準備に伴い2階全フロアを閉鎖。

(3) 令和5年度 古民家岸邸 月別利用者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入館者	199	230	69	101	66	100	64	84	26	134	337	439
開館日	22	21	22	22	22	22	21	22	10	20	21	23
平均	9	11	3	5	3	5	3	4	3	7	16	19
累計	199	429	498	599	665	765	829	913	939	1,073	1,410	1,849

(4) 古民家岸邸 年度別利用者数

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
入館者	4,229	3,282	5,288	3,506	3,587	3,167
開館日	213	357	357	359	360	359
平均	20	9	15	10	10	9

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
入館者	2,806	2,737	3,834	3,429	3,681	3,242
開館日	359	359	360	359	359	359
平均	8	8	11	10	10	9

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入館者	2,838	4,463	3,134	3,859	4,253	4,306
開館日	360	252	250	249	252	252
平均	8	18	13	16	17	17

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入館者	3,589	3,420	2,130	624	1,620	2,676
開館日	252	252	230	161	215	252
平均	14	14	9	4	8	11

	令和5年度	合計
入館者	1,849	81,549
開館日	248	7,375
平均	8	11

* 令和元年度は、新型コロナウイルス感染対策のため3月4日から3月31日まで休館。

* 令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策のため4月1日から5月26日まで休館。1月12日から3月21日まで休館。

* 令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策のため8月7日から9月30日まで休館。

あつぎ郷土博物館年報 6

発行日	令和6年5月31日
編集	あつぎ郷土博物館 〒243-0206 厚木市下川入1366番地4 TEL 046-225-2515
発行	厚木市